

令和 8 年度 入試過去問題

芸術学専攻

一般選抜

試験科目 英語

試験時間 1 時間

評価基準 読解力、ボキャブラリーの知識、翻訳能力をみる。

問題文：次の文章は、遠近法をめぐるレオン・バッティスタ・アルベルティによる議論に関する説明である。これを全文和訳しなさい。

【出典】Vernon Hyde Minor, *Art History's History*, New Jersey: Prentice-Hall, Inc., 1994, p.61.

試験科目 小論文

試験時間 1 時間

評価基準 問題考察力、鑑賞力、文章構成力、論理性をみる。

問題文：次の文章を読み考えたことを、具体例を挙げながら六〇〇字程度で論述しなさい。

【出典】ジョン・バージャー、伊藤俊治訳『イメージ 視覚とメディア』筑摩書房、二〇一三年、一七頁。

【出題の意図】

問題文は、イメージが伝えるものについて、芸術作品の特質に触れながら述べる文章の一部である。文章の内容を適切に読み取ることができているか、それに対する考察を、適切な具体例を挙げて論じることができているかを評価する。誤字脱字は減点した。文章を読む力・書く力を育むために、幅広い読書をお勧めする。

※本学管理棟 3 階 入試課において閲覧できます。(閲覧時間 平日午前 9 時から午後 5 時まで)

ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。

試験科目 素描（鉛筆）

試験時間 2 時間

評価基準 観察力、描写力をみる。

問題文：与えられたモチーフを、以下の指示に従って机の上に配置して描きなさい。

配置のし方：机の上に紙皿を置き、その端に一部が乗るように投げ輪を置きなさい。投げ輪の中の机の上にボールを置き、紙皿の上にビー玉を 2 個置きなさい。ボールとビー玉の位置は自由でよい。

モチーフ：

- ・紙皿 1 枚
- ・ビー玉 2 個
- ・ボール 1 個
- ・投げ輪 1 個

配付物：画用紙(四つ切り大)